

# 財政誘導目標

一定以上の基金を確保しながら、借金残高を増やさない範囲において、とっとり創生のための施策を集中的に実施

## 数 値 目 標

① H30の財政調整型基金残高  $\geq$  300億円（H19当初時の基金残高）

※ 財政調整型基金・・・以下の5基金の合計

財政調整基金、県立公共施設等建設基金、減債基金、大規模事業基金、長寿社会対策推進基金

② H30の実質的な借入金残高  $\leq$  3,000億円

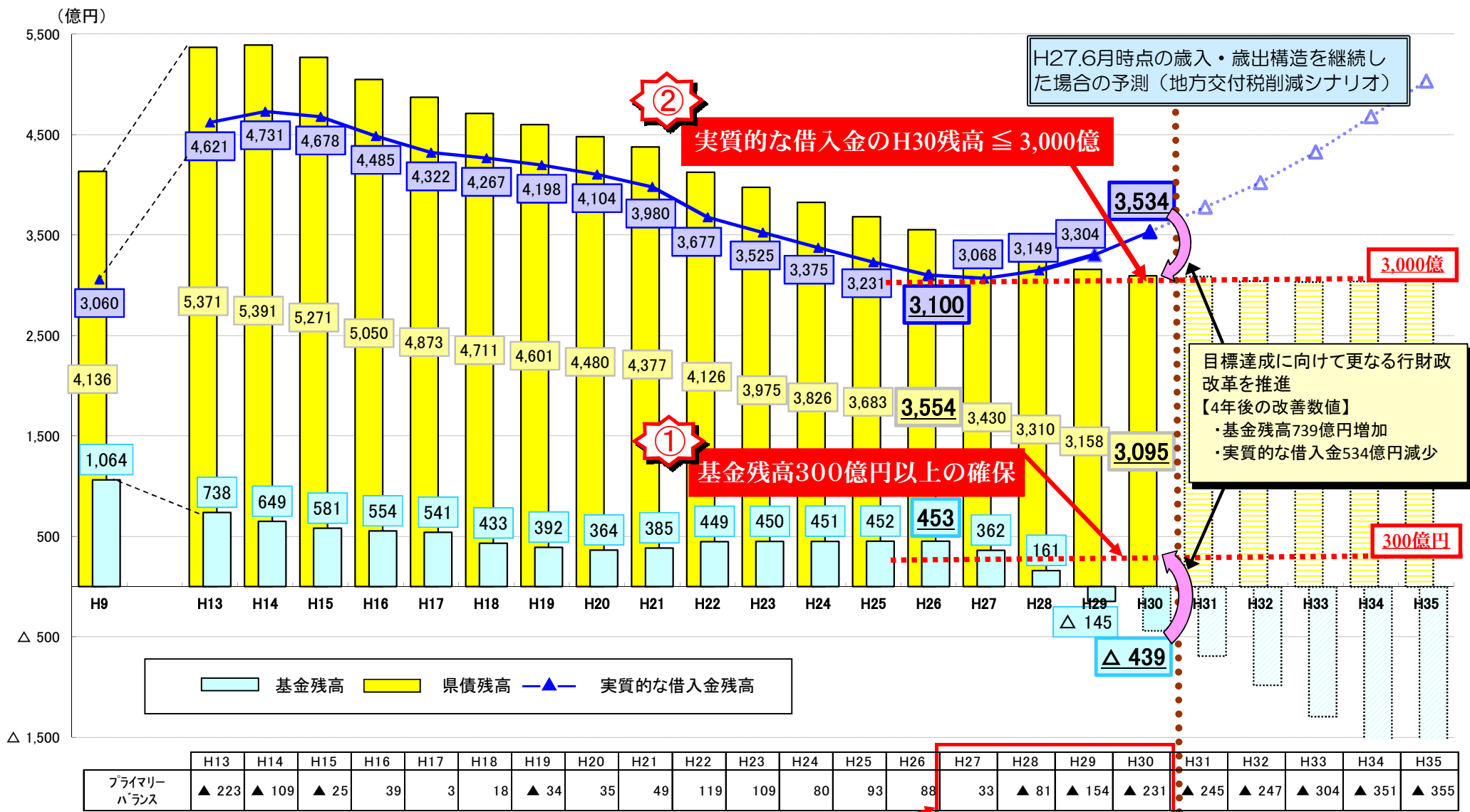
（H26の実質的な借入金残高 3,100億円よりも引き下げる）

※ 実質的な借入金残高 = 県債残高(臨財債除く) - 財政調整型基金残高

③ 当初予算編成時でのプライマリーバランスの黒字化(臨財債除く)

※「プライマリーバランス」とは基礎的財政収支のことで、黒字であれば、当該年度の政策的事業が将来への負担を増加させることなく実施でき、健全な財政運営が行われていることを示す。

# H27.6時点の歳出構造を継続した場合の推計 (今後の健全財政の推進について)



※プライマリーバランスは当初予算時点の数値。(知事改選期は肉付け後予算)

**③ 当初予算編成時でのプライマリーバランスの黒字**